

血管外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	クリッペル・トレノーネー症候群の解剖と静脈機能の解明および最適な治療法の検討
研究機関名及び研究機関の長 (試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(担当科)血管外科 (職名)講師 (氏名)三岡裕貴
試料・情報の利用目的及び利用方法	<p>〔利用目的〕 クリッペル・トレノーネー症候群の解剖学的特徴、最適な治療方法を検討することを目的としています。</p> <p>〔対象となる患者さん〕 2010年4月1日から2022年10月31日までにクリッペル・トレノーネー症候群と診断された患者さん</p> <p>〔研究期間〕 研究実施承認日 ~ 2027年3月31日</p> <p>〔利用方法〕 CT検査が施行され、検査で得られた画像において下腿の静脈の走行を評価します。さらに空気容積脈波(APG)検査の結果、採血結果、手術所見、身長、体重を診療情報から確認します。得られた情報からクリッペル・トレノーネー症候群の特徴と治療法を検討します。研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧を希望される方は下記問い合わせ先にご連絡ください。本研究は多機関共同研究であり、大雄会第一病院から愛知医科大学へ情報提供を行う際は、個人が識別できない状態で、電子媒体にデータをまとめ、研究者自身で輸送を行います。</p>
利用又は提供する試料・情報の項目	情報：CT画像、APG検査結果、採血結果等
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	大雄会第一病院 病院長 高田基志
提供する試料・情報の取得の方法	情報：カルテ情報から取得する

提供する試料・情報 を用いる研究に係る 研究機関名・研究責 任者名	愛知医科大学病院 血管外科 三岡裕貴
利用する者の範囲	大雄会第一病院 血管外科 太田敬 愛知医科大学病院 血管外科 三岡裕貴
試料・情報の利用又 は提供を希望しない 場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2026年12月31日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 血管外科 担当者:(職名)講師 (氏名)三岡裕貴 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311(内線22140)